

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年12月6日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	舞鶴市	代表者名	多々見 良三
担当者部署	情報システム課	連絡先電話番号	0773-66-1092
担当者役職		担当者氏名	
住所	625-8555 京都府舞鶴市字北吸1044		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	遠藤 守
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	「オープンデータとは」に始まり、なぜこの取り組みが必要なのかを職員に理解してもらおうべく、今回アドバイザーを依頼し講演をお世話になりましたが、非常に分かり易く、また、他市の事例等も交えながら講演いただきました。オープンデータについて、全くの無知であった職員が、今回の講演会によりオープンデータというものの存在に気付き、取り組む必要性を感じて終わったため。
アドバイザーへの要望事項	本市においてオープンデータの取り組みを進めるあたり、今後とも相談、助言等をいただけるとありがたいです。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年11月29日	13時30分	17時30分		240
3-2. 派遣場所	会場名	舞鶴市役所		最寄駅	東舞鶴
	所在地	京都府舞鶴市字北吸1044			
	最寄駅からの交通手段	タクシー5分(徒歩15分程度)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	49人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	オープンデータに取り組んでいくにあたり、職員の認識がほとんどない。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	今回の講演会により、オープンデータとは、取り組みの必要性を職員が認識できる。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	オープンデータの利用促進に係る講演会	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	今回の講演会により、参加した職員がオープンデータを認識できたこと、また、オープンデータに関する取り組みが必要であることが、ある程度認識できた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	職員のオープンデータに対する意識の変化	
改善又は解決されなかった内容	なし	
持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート結果は別紙のとおり	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	今年度の目標として、推奨データセット(基本)の公開。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

